第７次大館市社会教育中期計画

（令和２年度～令和５年度）

まちや暮らしのなかで市民が活躍し
次代を育む“教育文化都市”

めざすまちのすがた

- ふるさとに誇りをもち共に学び合いができるまち
- 自分をまちづくりに生かしつながりをつくることができるまち
- 郷土の誇りを守り伝えるまち
- 誰もがどこでも生涯を通じて共に学び合うまち

ふるさとの誇りと未来

わたしたちの目標

ふるさとに誇りをもち 共に 学び合い ができるまち

○自分を高めるために積極的に学習に参加します。
○世代を超えて地域の人との触れ合いを深めます。
○生涯学習ボランティアに参加します。
○地域ぐるみで次代を担う子どもを育てます。
○学校と地域の双方向の連携・協働関係を築きます。
○読書に親しみ、読書を通した学習活動に参加します。

自分をまちづくりに生かし、つながりをつくることができるまち

○知識や技術、経験、自分の特技などを積極的に学校や地域のために生かします。
○地域の行事や公民館事業に積極的に参加します。

郷土の誇りを守り伝えるまち

○大館の歴史や文化を学び、伝えます。
○芸術文化の拠点である文化会館（ほくしか鹿鳴ホール）・郷土博物館を活用します。

誰もがどこでも 生涯を通じて共に学び合うまち

○障がいのあるなしに関わらず共に学びます。
○性別・年齢・国籍にとらわれず共に学びます。
○生涯を通じて学びます。

を育む生涯学習社会

市の取り組み

ふるさとに誇りをもち 共に 学び合い ができるまち

○生涯各期の課題に対応した生涯学習を充実させます。
○知識や経験、学びの成果をふるさとキャリア教育やまちづくりに生かす場を広げます。
○学校を核とし地域社会をつなぎ、地域ぐるみの子育てへの取り組みを充実させます。
○読書活動を充実させます。
○世代を超えて生涯学習を進める組織や機能を充実させます。

自分をまちづくりに生かし、つながりをつくることができるまち

○ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努めます。
○地域のコミュニティづくりの拠点として、公民館活動を充実させます。

郷土の誇りを守り伝えるまち

○公民館・学校等の連携による郷土学習や郷土芸能継承活動の充実を図ります。
○芸術文化事業を推進します。
○郷土資料の保存と活用を図ります。

誰もがどこでも 生涯を通じて共に学び合うまち

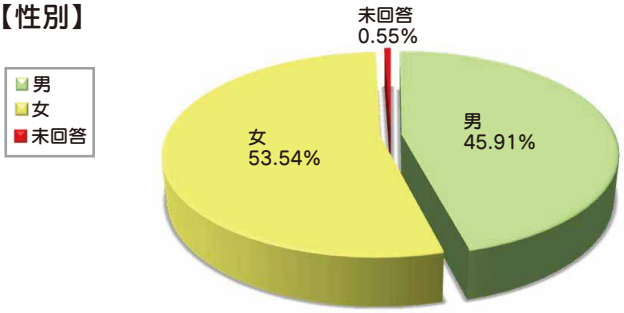
○障がい者のための生涯学習事業を充実させます。
○多様性のある社会に対応した学習の機会を設けます。

「社会人の学び直し」に関するアンケート集計結果

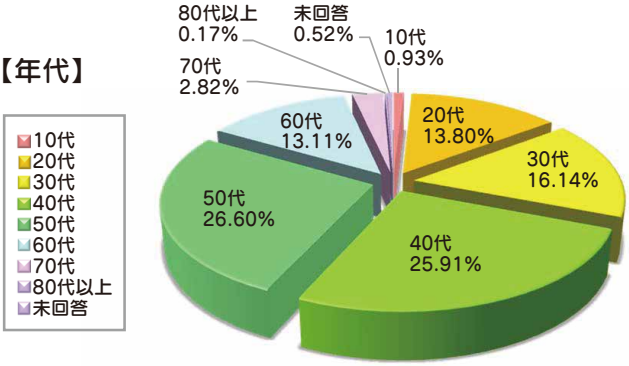
〈令和元年11月集計　総数2,906件〉※84団体の協力

Q1 性別、年代、職業を教えてください

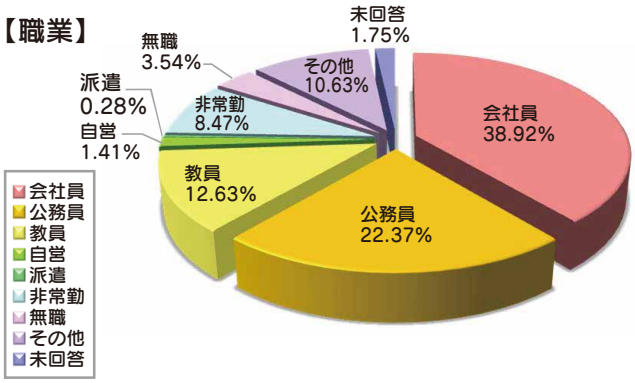
【性別】



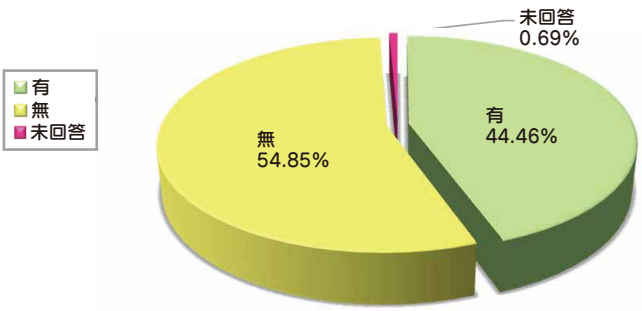
【年代】



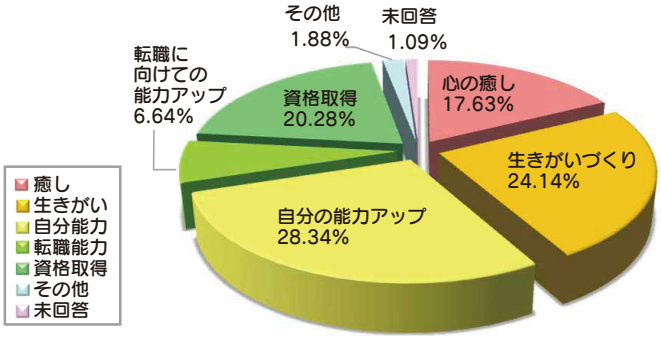
【職業】



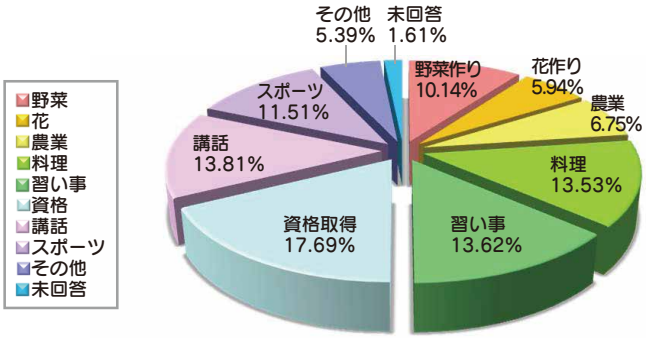
Q2 現在、仕事以外の時間に取り組んでいる勉強やスポーツ、趣味などがありますか？



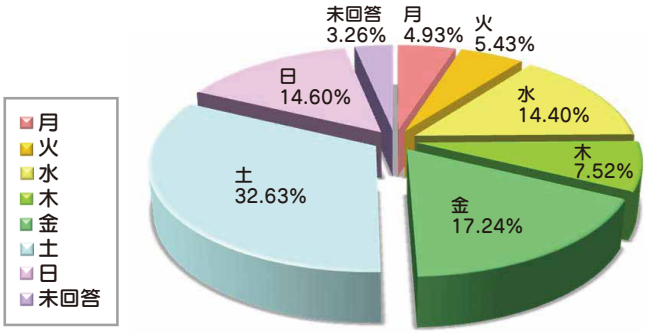
Q3 学び直しができるとしたら、あなたが求めるのは次のどれにあてはまりますか？



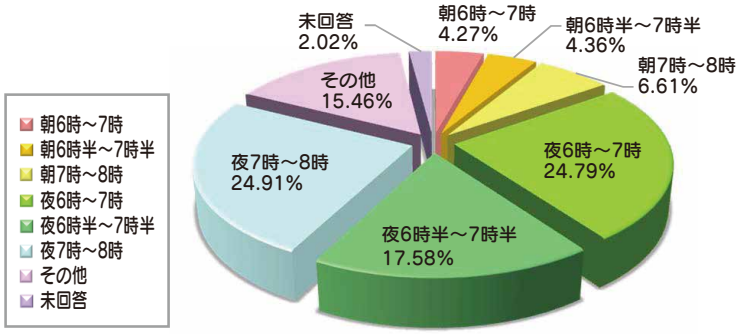
Q4 大館市内で新たに、社会人が学ぶ講座を開催するとした場合、どのようなものがあればいいと思いますか？



Q5 講座の開催は何曜日が良いと思いますか？



Q6 講座の開催時間を１時間とした場合、どの時間帯が良いと思いますか？



回答者からのコメント（抜粋）

・趣味的なものばかりではなく、学術的なものも欲しいと思う。
・仕事が減らないと足は向かない。
・多くの市民がいろんな教育が受けられることを願う。
・社会人の学び直しに関しては、同じように取り組む仲間がいるとモチベーションも変わると思うので、学び直しをしている社会人同士が交流する場を設けたり、架け橋としての役割を行政で行ったらいいと思う。
・「リカレント教育」と冠していながら、本来の意味が含まれない解釈をしているので違和感がある。
・学び直しという観点ではなく「学び続ける」か「新たに学ぶ」という観点でしか、考えられなかった。
・何か目標があれば、1日の時間の使い方が変わり充実した暮らしが出来ると思う。
・リタイアした男性陣が参加しやすい講座の工夫。高齢男性（退職者）の居場所づくり。
・夜間や休日など、仕事をしている人が参加できるものが少ない。種類も少ない。
・リカレントを導入するのであれば、参加した時間を就業時間にあてられるような方策・横断的な制度がほしい。
・実用的な講座だけではなく、教養と言われるような内容の講座もあってほしい。
・リカレント教育について理解が広まらないと参加しにくいと思う。
・「世の中のニーズがあるから、仕事に生かせるから」ではなく、自分の趣味の幅を広げるためという目的のものがあったほうがよい。娯楽施設の少ない大館であるからこそ様々なものを紹介し、市民が幅広く興味をもつモチベーションにつながるようなものがあった方がよい。
・「大館市民として必要な学びは何か」を様々な方向から統計をとり考えてほしい。大館市の産業を重要視した学習体系を作れればと思う。
・これまでの社会教育や生涯学習とどのように違うのか。普及をどのようにするのか。学び直しに対する家庭・職場の理解が得られるよう、進めてほしい。
・60代以上の方々が気楽に集まり情報交換できる場があれば、もっと元気な大館市になると思う。
・資格取得をめざす講座とサークル的な講座を分ける。
・自分の適性を知る機会があれば嬉しい。そこから学び直し項目を選択し、スキルアップしたい。
・大館には様々なスキルを持った方がいるので、「教わる」だけではなく「教える」ことに生きがいを見い出してくれる人が増えるといいと思う。
・講座そのものの開催よりも、時間的・金銭的なサポートがあってくれると嬉しい。
・TwitterなどのＳＮＳでの配信が不可欠だと考える。ホームページ、チラシ、ポスターは特定の年代にしかみられない可能性があると思う。
・このようなアンケートを継続実施し、市民の期待に応えることが社会人の学び直しを推進する言動力になると思う。
・「昨日よりも今日、そして今日よりも明日」と自分自身を向上させようとする人は、間違いなく皆に勇気とやる気を与える。そういう人が増えていく様な仕組みをまちづくりに組み込むことは、とても重要だと思う。
・仕事との両立、各方面への協力依頼が必要だと思った。現状では、自分が何かを学び直しするには学ぶ前の準備から課題が多い。

◆ これからの生涯学習は

第５次計画及び第６次計画においては、「知の循環型社会」の実現をめざし、地域づくりや地域の教育力向上を図りながら人財づくりを行ってきました。

第７次計画においては、これまでの計画に加え、社会人の学び直しや障がい者のための生涯学習に視点をおいた人づくりをめざします。

また、福祉分野や地域づくりと連携しながら高齢者事業の充実を図り、さらに生涯学習に関連するさまざまな情報を集めた「生涯学習のプラットフォーム」の構築に向けた活動を行っていきます。

◆ 社会教育中期計画とは

今後４年間（令和２年度～令和５年度）の生涯学習の推進計画です。

生涯学習の方向性やあり方を示すと同時に「わたしたちの目標」と「市の取り組み」事項を明確にし、市民と行政が共に「ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習社会」の実現を目指したいと考えています。

重点施策

ふるさとの誇りと未来を育む生涯学習社会

まちや暮らしの中で市民が活躍し次代を育む教育文化都市

ふるさとに誇りをもち共に学び合いができるまち

高校生ボランティアグループの育成
高校生まちづくり会議「HACHI」

子育て講座の充実
親育て、孫育て講座

木育推進事業の実施
女性センター木育ひろば
出前講座による木育

市民版ふるさとキャリア教育・学習の充実
市民による地元企業の学習
子どもとの教育活動、歴史の学び

大館版「リカレント教育」の構築
検討委員会の立ち上げ
各種講座の実施
運営団体の検討

学校図書館への支援
飛び出す図書館司書

自分をまちづくりに生かし、つながりをつくることができるまち

人財名簿、達人講座の活用
各種講座の開催

高齢者のための地域コミュニティ事業の充実
高齢者事業の拠点づくり

公民館事業の充実
老壮大学
わんぱくスクール
地区公民館の活性化

郷土の誇りを守り伝えるまち

郷土芸能・芸術文化に関する公民館・学校等との連携事業の推進
芸術文化交流、体験事業

地域の歴史保全の充実
歴史まちづくり事業

誰もがどこでも生涯を通じて共に学び合うまち

障がい者のための生涯学習の推進
軽スポーツ交流会
防災学習会
ものづくり体験
障がい者施設との連携

共生社会の学習の充実
多様性の理解

生涯学習の情報プラットフォームの構築（生涯学習課）

大館ふるさとキャリア教育	市民によるボランティア活動	各種学習活動
（おおだて型学力）	（民間の活動）	（自主サークル）

◆ 中期計画に使われている言葉の意味

◆「知の循環型社会」とは

学んだことや持っている知識や技術、経験を地域や子どもたちのために適切に生かすことのできる社会のことで、教育基本法第３条に「生涯学習の理念」として規定されています。

◆生涯学習の理念（教育基本法第３条　抜粋）

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」

◆つながりづくりとは

人と人、人と地域、学校と地域、地域と地域、そのつながりをつくることが地域づくり、地域の教育力向上の土台と考えています。公民館活動への参加、世代間交流活動、地域と学校の連携・協働体制構築事業などによって実現されます。

◆大館版「リカレント教育」とは

リカレント教育は、義務教育又は基礎教育終了後、生涯にわたって教育とほかの諸活動（労働、余暇など）を交互に行う教育システムのことです。

大館版「リカレント教育」では、人生１００年時代に対応して、学び直しに向けた環境づくりを推進し、農業講座や資格取得講座などを展開し、生涯を通じて社会参加や社会貢献をする「やる気」を引き出す幅広い教育活動をめざします。

◆大館ふるさとキャリア教育とは

ふるさとに生きる基盤を培う「ふるさと教育」とその基盤の上に自らの人生の指針を描く「キャリア教育」を融合した本市独自の教育理念です。ふるさとに根ざし、大館の未来を切り開く人財を育成することを目的としています。

◆高校生まちづくり会議「ＨＡＣＨＩ」とは

公民館を中心とした活動として、各高校の生徒が参加する高校生まちづくり会議「ＨＡＣＨＩ」があります。これは、仲間と協力し公民館職員がサポートしながら、地域・家庭と関わりさまざまな活動を実施し、人とのつながりと地域の活力を養うことを目的としています。

◆高齢者事業の拠点とは

健康で心豊かな人生をすごすために、福祉分野で取り組んでいる高齢者サロンと地域づくりと連携しながら、生涯学習事業の中で拠点づくりをめざします。

◆飛び出す図書館司書とは

小・中学校へ図書館司書を派遣し、学校図書館の整備・活動を支援して、読書率の向上につなげようとするものです。

◆わんぱくスクールとは

学校５日制に対応する事業として、年９回ほど土曜日に実施します。野外活動等を通じ、児童たちに仲間づくりと協調性を養う機会を提供します。

◆共生社会とは

「これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障がい者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。このような社会を目指すことは、我が国において最も積極的に取り組むべき重要な課題である。」

※「平成24年共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（中央教育審議会初等中等教育分科会報告）」より抜粋

◆障がい者のための生涯学習とは

「障害者差別解消法」（H28.4月施行）は、障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、「共に生きる社会」をつくることを目的とした法律です。この法律の施行に伴い、「学びたい」という意欲のある人が、誰でもどこでも学べる生涯学習をめざします。

◆芸術文化に関する公民館・学校等との連携

子供たちが、郷土芸能に限らず音楽や舞踊、生活文化を学ぶ場所として、学校を拠点としながら社会教育施設や地域を活用して学びの場を作ることをめざします。

◇各公民館の主な事業

公民館名		事業名	連絡先
1	中央公民館	高校生まちづくり会議「HACHI」、わんぱくスクール、老壮大学 公民館ディスコ交流会	42-4369
2	釈迦内公民館	世代間交流会、相染慶老大学	43-7117
3	長木公民館	女の教室、長寿学級、餅つき交流会、夏のお楽しみ会	43-7118
	雪沢分館	地区運動会、ユニカール大会	
4	上川沿公民館	料理教室、健康教室、春をよぶ音楽祭	42-0836
5	下川沿公民館	高齢者学級ロイヤル、ボッチャ事業	49-0271
6	真中公民館	ひまわり事業、鮭稚魚放流事業	49-5928
7	二井田公民館	ふれあい学級、分団対抗スポーツ大会、分館事業の充実	49-4121
	麓西分館	三世代交流会、ユニカールの集い	
8	十二所公民館	十二所かまくらやき、健康教室	43-7123
9	花岡公民館	長寿大学、観桜会	43-7124
10	矢立公民館	郷土品展示室整備事業、矢立地区ボッチャ大会の開催	43-7125
11	比内公民館	あおぞら学園、星空観望会、ボッチャ研修会、分館対抗スポーツ大会	43-7141
	分館（7館）	地区運動会、子どもまつり、バドミントン研修会、温泉まつり	
12	田代公民館	田代公民大学、カヌー体験講座、石の塔登山、たしろ学舎	43-7126
	分館（10館）	地区運動会、分館祭り、白ひげ巡業、サロン会	

◇各種相談窓口

担当課		主な相談内容	連絡先
1	生涯学習課	人財名簿、達人講座、出前講座、子育て講座について	43-7113
2	中央公民館	サークル活動や公民館講座について	42-4369
3	栗盛記念図書館	読書（本）や読み聞かせボランティアについて	42-2525
4	郷土博物館	郷土の文化や歴史について	43-7133

◇第７次大館市社会教育中期計画の策定に関わった人

大館市社会教育委員

○阿部　之義（委員長）　○小笠原　豊（副委員長）　○木村　勝広　○三浦　栄一　○望月　まゆみ
○貝森　大樹　○戸田　由美子　○越前　貞久　○沓澤　成子　○片岡　精子

発行：大館市教育委員会
生涯学習課

〒018-3595
秋田県大館市早口字上野43番地1
TEL　0186-43-7113　FAX　0186-54-6100　Email　gakusyu@city.odate.lg.jp
ホームページ　https://www.city.odate.lg.jp/